

～挙式・披露宴実施者 首都圏981人にアンケート実施～

入籍時の平均年齢は男性29.8歳、女性28.3歳。 年下・年上の両方に好かれる25～29歳男性が人気!?

株式会社リクルートの調査・研究組織であるブライダル総研(所長:鈴木直樹)より、「ゼクシィ結婚トレンド調査2009 首都圏版」(2008年4月～2009年3月に挙式または披露宴を行った「ゼクシィ」読者981人が対象)からみえてきた、結婚や結婚式、カップルの特徴や変化に関する分析をお伝えします。

①男性29.8歳、女性28.3歳。入籍時の年齢に大きな変化はなし

入籍時の夫婦それぞれの年齢について調査したところ、2009年の男性の平均年齢は29.8歳(前年調査時29.9歳)、女性の平均年齢は28.3歳(前年調査時28.3歳)と、大きな変化は見られませんでした。

②夫と妻の年齢差は「同年齢」が最も多く全体の約20%

さらに結婚時の夫婦の年齢差見てみると、最も多いのが「同年齢」(20.7%)、次いで「夫が1歳上」(16.5%)、第三位が「夫が4～6歳年上」(13.5%)という結果に。ちなみにいわゆる「姉さん女房」、妻が夫よりも歳上である割合は全体の22.6%でした。
同年代同士の結婚が多い中、唯一「24歳以下の女性」の場合のみ、「25～30歳男性」との組み合わせが56.6%と最多で、同年代よりも多い結果になりました。

③今一番モテるのは、年下から年上からも人気上昇中の「25～29歳男性」!?

2008年に行われた同調査と比較してみたところ、「24歳以下女性」と「35歳以上女性」の2つの年代と、「25～29歳男性」の組み合わせがそれぞれ増加していることが分かりました。「24歳以下女性×25～29歳男性」の組合せは、前年の48.2%から56.6%に増加、「35歳以上女性×25～30歳男性」の組合せは、前年の8.7%から12.3%と3.6ポイントも増加しました。このように、年下からも年上からも人気を集めている25～29歳男性が、今最もモテる年代といえるかもしれません。

入籍時の平均年齢、夫婦の年齢の組み合わせでは同年代のカップルが多いなど、全体的な傾向に大きな変化はないようです。一方で、年下女性からも年上女性からも”狙われる”25～29歳男性が人気を集めているというのが、最近の特徴と言えるかもしれません。同年代の女性もうかうかしてはいられないですね。

【リクルート ブライダル総研】

「ブライダル総研」は、株式会社リクルートのブライダルカンパニーに設置されている調査・研究組織です。結婚や結婚式に関する調査・研究、未来への提言を通じて、ブライダルマーケットの発展に貢献することを目的として活動しています。
(ブライダル総研 所長 鈴木直樹)

◆出版・印刷物へデータを転載する際には、「リクルート ブライダル総研調べ」と明記いただけますようお願い申し上げます。

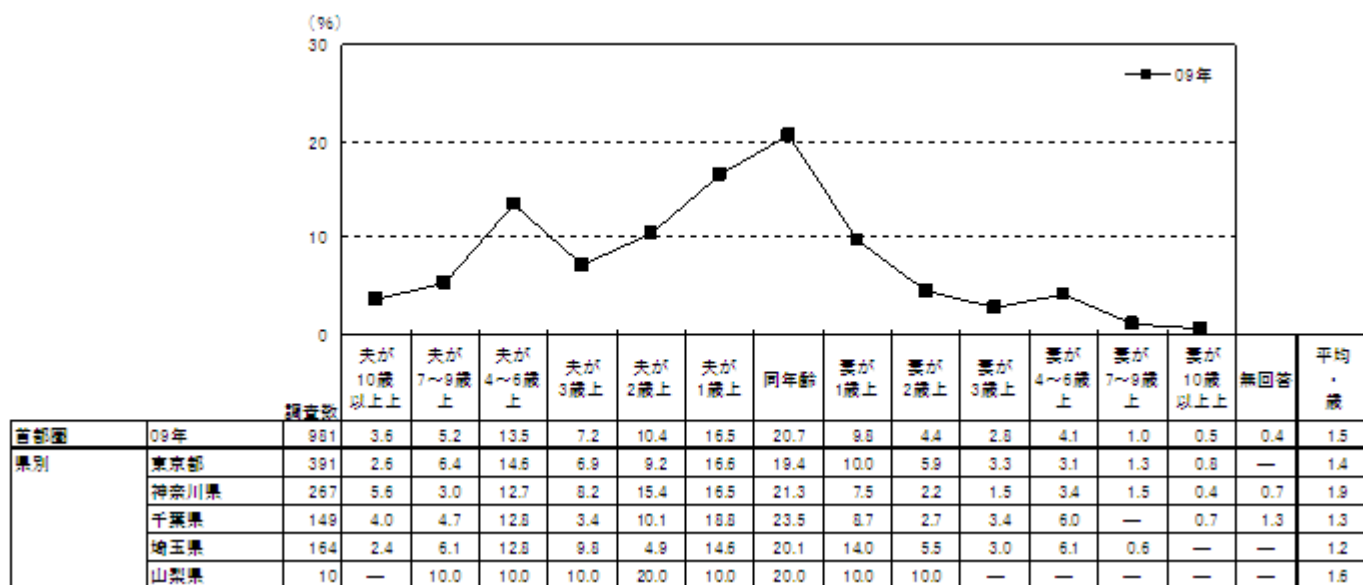
【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルート 広報部 社外広報G 永野 あい子
TEL: 03-6835-9611 E-mail: aiko_nagano@r.recruit.co.jp

■調査名:「ゼクシィ結婚トレンド調査 2009 首都圏版」より

【参考データ】

① 結婚時の夫-妻の年齢差（首都圏／単一回答）



② 夫年齢と妻年齢の組み合わせ（首都圏／単一回答）

※横軸：結婚時の年齢【夫】 縦軸：結婚時の年齢【妻】

F1-イ.結婚時の年齢【妻】/才	調査数	結婚時の年齢【夫】				無回答	平均値	実数合計
		24歳以下	25~29歳	30~34歳	35歳以上			
全体	981	53	476	315	135	2	29.8	29183.0
24歳以下	122	30	69	18	5	0	26.9	3283.0
25~29歳	550	21	351	141	37	0	28.8	15839.0
30~34歳	232	2	46	129	55	0	32.3	7487.0
35歳以上	73	0	9	26	38	0	34.5	2515.0
無回答	4	0	1	1	0	2	29.5	59.0

■調査名:「ゼクシィ結婚トレンド調査 2009」より

【調査概要】

【調査方法】 郵送法

【調査期間】 2009年4月24日～6月5日

【調査対象】 北海道、青森・秋田・岩手・宮城・山形、福島、茨城・栃木・群馬、首都圏、新潟、長野、富山・石川・福井、静岡、東海、関西、岡山・広島・山口、四国、九州の2008年4月～2009年3月に結婚(挙式・披露宴・披露パーティ)をした、もしくは結婚予定があった「ゼクシィ」読者のうち、地域ごとにランダムサンプリングし、調査票を郵送。調査票への記入は妻に依頼。

調査票発送数:23,511件 調査票回収数:7,440件 回収率:31.6%

※対象地域の分け方は、05年の「ゼクシィ」各版の発行地域と同一になります。

【集計サンプル数】

計7,440人〔北海道:461人、青森・秋田・岩手:317人、宮城・山形:301人、福島:146人、茨城・栃木・群馬:442人、首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉・山梨):981人、新潟:165人、長野:184人、富山・石川・福井:311人、静岡:330人、東海(愛知・岐阜・三重):691人、関西(大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山):1,053人、岡山・広島・山口:561人、四国(愛媛・香川・徳島・高知):361人、九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島):1,136人〕

※回収されたサンプルのうち、対象期間内に挙式または披露宴・披露パーティをどちらも実施していないものは除いています。

※地域別の集計は「結婚前の妻の居住地」で行っています。また、04年まではどの地域版のゼクシィ読者であったかに基づいて集計しています。

※全国集計については、各地域の婚姻件数(平成19年厚生労働省人口動態調査調べ)に合わせてウエイトバック集計を行った推計値を掲載しています(全国<ゼクシィ発行地域外を除く>の婚姻件数合計は705,120組)。また、04年までの全国集計は、各地域のサンプルをそのまま積み上げて平均を求めた単純平均のため、データに連続性がないので結果は表示していません。

※本文中で使用している時系列のデータは、それぞれ過去に実施した同調査のデータです。調査方法、調査対象者は本年と同様、集計サンプル数については下記の通りです。

▼2001年調査 北海道、東北、首都圏、東海、静岡、関西、中国、九州 各400人

▼2002年調査 北海道、東北、茨城・栃木・群馬、首都圏、東海、静岡、関西、中国、九州 各400人 新潟、長野、富山・石川・福井 各250人

▼2003年調査 北海道、東北、茨城・栃木・群馬、首都圏、東海、静岡、関西、中国、九州 各400人 長野、富山・石川・福井、四国 各350人、新潟250人

▼2004年調査 北海道、東北、茨城・栃木・群馬、首都圏、東海、静岡、関西、岡山・広島・山口 各400人 新潟230人、長野340人、富山・石川・福井313人、四国305人、九州402人

▼2005年調査 北海道、茨城・栃木・群馬、首都圏、東海、関西、岡山・広島・山口、九州 各400人 青森・秋田・岩手156人、宮城・山形347人、福島94人、新潟166人、長野219人、富山・石川・福井214人、静岡279人、四国272人

▼2006年調査 北海道:424人、青森・秋田・岩手:162人、宮城・山形:237人、福島:97人、茨城・栃木・群馬:505人、首都圏:1,200人、新潟:125人、長野:169人、富山・石川・福井:152人、静岡:244人、東海:630人、関西:1,094人、岡山・広島・山口:325人、四国:203人、九州:568人

▼2007年調査 北海道:432人、青森・秋田・岩手:154人、宮城・山形:248人、福島:85人、茨城・栃木・群馬:475人、首都圏:867人、新潟:154人、長野:158人、富山・石川・福井:221人、静岡:368人、東海:706人、関西:1,164人、岡山・広島・山口:425人、四国:256人、九州:899人

▼2008年調査 北海道:488人、青森・秋田・岩手:219人、宮城・山形:268人、福島:109人、茨城・栃木・群馬:475人、首都圏:1,142人、新潟:166人、長野:155人、富山・石川・福井:271人、静岡:307人、東海:690人、関西:1,180人、岡山・広島・山口:556人、四国:311人、九州:1,029人